

浜岡原子力発電所5号機 高圧ドレンタンク水位調整弁(B)制御系の点検について
(続報)

平成 21 年 7 月 27 日

◆今回お知らせする内容

点検結果	平成21年7月25日に、B系列から予備であるC系列に切り替え、高圧ドレンタンク(※1)水位調整弁(以下、調整弁という)(B)の制御系の点検を実施しました。 その結果、電空変換器(※2)の圧力信号に対して、調整弁の開度に5%程度のずれが生じていたことから、調整を行い、調整弁(A)、(C)と同じ程度の開度となることを確認しました。 なお、今後はB系列を予備とします。
------	--

◆これまでにお知らせした内容

(平成21年7月24日お知らせ済み)

対象号機	5号機 (調整運転中) :改良型沸騰水型、定格電気出力126.7万キロワット
発生日	平成21年7月24日
発生時の状況	高圧ドレンタンクの水位を制御するための調整弁3台(2台使用、1台予備)のうち、使用中の調整弁(B)が、同じく使用中の調整弁(A)に比べ開度が少なめになっていること、それに伴い高圧ドレンポンプ(B)の出口流量が少なくなっていることを平成21年7月17日に確認しました。 これまで、高圧ドレンタンクの水位が安定していることを確認しながら調査を進め、現時点においても直ちに問題となるものではありませんが、準備が整い次第、予防保全の観点から調整弁(B)の制御系の点検を実施することとしました。 なお、点検は予備であるC系列に切り替えたのち実施します。 本事象によるプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しております。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表2-1 原子炉の運転中に運転に関連する主要な機器の軽度な故障があったとき。」に該当します。

※1 高圧第1, 2給水加熱器等からの加熱蒸気の凝縮水(ドレン)が高圧ドレンタンクに集められます。定格熱出力一定運転中、この凝縮水は、高圧ドレンポンプ(2台運転, 1台待機停止)により調整弁(2台使用, 1台予備)を経由して給水ポンプ入口側に供給されます。調整弁は、高圧ドレンタンクの水位が一定になるように高圧ドレンポンプの流量を調節します。
なお、高圧給水加熱器は、タービンへ送る蒸気の一部で原子炉への給水を加熱する機器です。

※2 電空変換器は、調整弁の制御系の一部で、高圧ドレンタンク水位の制御信号(電気信号)を、調整弁の開度制御を行う空気圧力(圧力信号)に変換します。

以上